

日本樹木医会 会員の皆様

『倒木等事故に関する報道の収集』事業へのご協力をお願い

このたび日本樹木医会技術部会の新しい事業として「倒木等事故に関する報道の収集」が加わりました。

つきましては、本事業の趣旨をご理解いただき、皆様からの情報提供をお願いいたします。

1. 趣旨

ご記憶にも新しいと思いますが、今年4月16日に神奈川県相模原市のキャンプ場で倒木の下敷きになった女性が亡くなり、一緒にいた男性も重傷を負うという痛ましい事故が発生しました。同じく3月13日には兵庫県の中学生、北海道の高校生がそれぞれ倒木に巻き込まれて怪我を負う事故が発生しました。

このような社会的背景から、『倒木等事故に関する報道の収集』事業は、倒木等により発生した事故の情報収集とその情報を会員と共有、提供することを目的とします。新聞やTVなど公の報道の情報を対象とし、収集によって蓄積した情報を当会HPの会員サイトで当会会員へ共有及び提供する新たな会員サービスとして、さらに活動の概要を当会HPの一般ページに掲載して当会の活動PRにつなげることを考えています。

また、情報の蓄積から年間の事故発生件数や樹種、樹高などの集計、分析や検証を行うことが可能となり、そこから樹木診断を行う会員への注意喚起やクライアントへの樹木点検の必要性を説く根拠等に発展する可能性もあります。

2. 収集方法

会員個人単位からの情報提供を可能にするため、Google フォームを使用したアンケート形式での収集を行います。また、各支部の情報連絡員に依頼して技術部会との連携を図り、地域や地方の新聞・ニュースからも情報を収集及び内容の確認を行える体制を構築できればと考えています。

『倒木等事故に関する報道の収集』Google フォーム（添付のQRコードからアクセス可） URL：<https://forms.gle/uxYwUAbjhMGymso6A>

※PC以外にもスマートフォンやタブレットでも入力が行え、フォームを各端末のホーム画面に追加することも可能です。



3. 期間

2023 年から 2027 年 3 月までの 3 ヶ年超を収集の区切りとします。

4. 収集する報道内容の情報と理由について

<必須の情報>

○ 事故報道の発信元（新聞またはテレビ）と報道媒体（新聞紙・オンライン版、番組名等）、報道年月日

理由：倒木等事故の報道内容の取り纏め、また、転載や引用するための許諾申請を行うため

○ 報道された都道府県について

理由：事故の発生した地域を明確化するため

○ 事故発生日時（過去に遡った情報も可）

理由：発生日時（都道府県や地域の情報も必要）から気象状況を調べるのが可能となるため

<写真や記事などの報道媒体から得られる可能性のある情報>

○ 樹種

理由：樹種特性と比較ができることや、注意すべき樹種などが新たな発見の可能性があるのであるため

○ 樹高

理由：倒木や落枝などの発生した樹木の樹高に関して、報道内には記載されていないことが多いものの写真等の媒体から推察することができるため。

○ その他、発生要因推察に繋がる具体的な情報

理由：事故被害者の有無、被害の状況、倒木した樹木の情報（被害部位や落枝、場所・所有者など）、周囲の状況、気象条件など、発生要因推察につながりうる報道内の具体的な情報

以上の情報の提供にご協力をお願いいたします。

5. 新聞等の公的文章の引用と公的情報源の写真などの転載について

新聞や通信社などが発信する記事、ニュース速報、写真、図版類には著作権があり、無断で使用すれば著作権侵害になります。一般社団法人日本新聞協会に著作権について問い合わせたところ、使用を希望する場合には著作権者の許諾が欠かせないという回答でした。そのため、収集した情報の中で特に記事原文や掲載写真を情報共有する必要があると技術部会が判断したもの（人身、物損において重大な事故が発生した場合。または、巨木等の倒木やニュース性が高く詳細な情報を会員へ共有が望ましい判断したものに限る。）については、発信元に許諾申請を行います。

6. 情報の共有について

「5. 新聞等の公的文章の引用と公的情報源の写真などの転載について」に記載しましたが、報道された情報は著作権物であるため、収集した情報を全て共有することは難しいと判断し、『事故発生場所（市区町村まで）、発生年月日、報道媒体、報道年月日、事故概要（樹種、樹高、被害状況、発生要因推察に繋がる情報）』のみを本会HPの会員サイトに掲載することを考えています。記事や写真の転載許諾がとれたものについては、その旨を明示し、可能な場合は記事の転載及び記事URLの掲載を考えています。

情報提供者などが個人で撮影した写真については、映り込み等によりプライバシーを侵害する可能性があるため、原則的に掲載しません。

7. 情報の活用について

収集した情報から、年間の倒木等事故件数及び人身、物損事故の件数の集計を行い、会員に提供します。樹木診断や点検の必要性を訴える材料の一つにできればと考えています。

事故発生要因については、情報の蓄積と分析、検証が必要と思われます。科学的根拠を基に事故発生要因を解明するためにも、会員の皆様に情報収集に協力いただくことが不可欠と考えています。収集で得られた情報から要因を推察し、その蓄積を続けることによって、注意喚起や予防対策の提言へと繋がっていく可能性もあると考えられます。

8. 問い合わせ

technology@jumokui.jp（技術部会専用アドレス）

技術部会 倒木等事故に関する報道の収集作業チーム